

QNAPバックアップ手順書

QTSバージョン 4.5.3.1652 (2021/04/28)

目次

ページ数

①クラウドへのHBS3設定1	...2
②クラウドへのHBS3設定2	...3
③外部ストレージの接続	...4
④外部ストレージへのHBS3設定1	...5
⑤外部ストレージへのHBS3設定2	...6
⑥「QuDedupの使用」のチェック有無の違い	...7
⑦ QuDedup Extract Toolの導入	...8
⑧ qdffファイルの参照	...9

①クラウドへのHBS3設定1

クラウドへのバックアップ設定

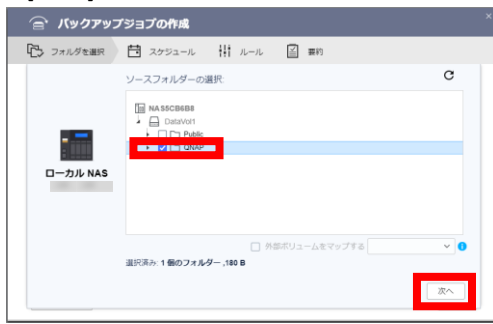
① HBS3をクリックして起動します。



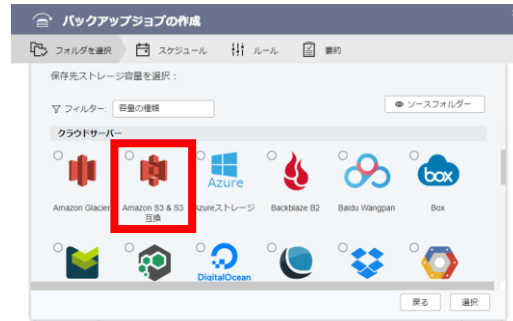
② [バックアップ & 復元] → [新しいバックアップジョブ] をクリックする。



③ バックアップを取るソース（元）フォルダにチェックを入れて[次へ]をクリックします。



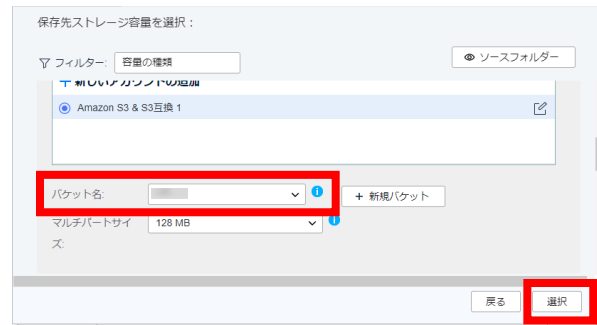
④ 保存先に[AmazonS3 & S3互換]を選択しチェックをいれます。



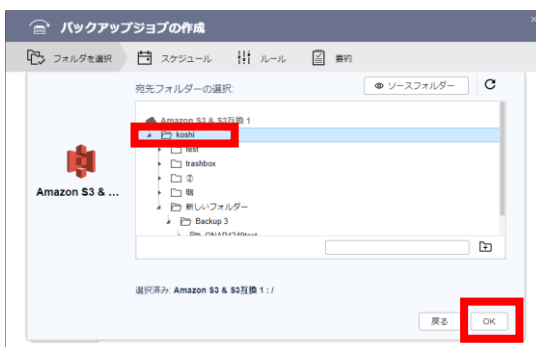
⑤ Azumasy情報を入力する。
サービスプロバイダは「S3互換」に設定します。



⑥ [バケット名]を選択して[選択]をクリックします。



⑦ フォルダを選択して[OK]をクリックします。



⑧ バックアップ元と先の設定が完了しました。
[次へ]をクリックします。



②クラウドへのHBS3設定2

クラウドへのバックアップ設定

⑨ 任意のスケジュールを設定して[バージョン管理]をクリックします。



⑩ [バージョン管理を有効にする]のチェックを外す。
[データの整合性チェック]をクリックします。



⑪ クイックチェック：スケジュールなし
コンテンツチェック：チェックなし
に設定して[次へ]をクリックします。



⑫ [QuDedupの使用]にチェックが入っている事を確認して、[ポリシー]をクリックします。
※QuDedupに関しては、[p7をご参照ください](#)



⑬ 任意の設定をしてオプションをクリックします。



⑭ 任意の設定をして[次へ]をクリックします。



⑮ [作成]をクリックして。バックアップの設定は以上です。
⑨で設定したスケジュールでバックアップが実行されます。



クラウドへのバックアップ設定は以上です。

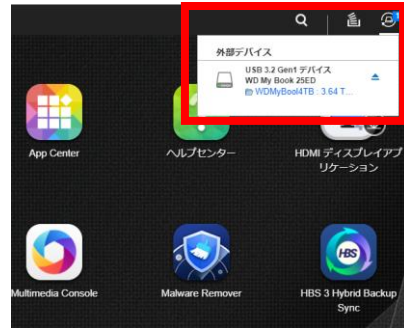
③外部ストレージの接続

外付けHDD等の接続確認

① 外部ストレージを初めて接続するとこのような画面になりQNAPに認識された事を確認できます。



① [接続された外部デバイス]からも確認することができます。



③ [ストレージ&スナップショット]⇒[外部ストレージ] ⇒ [アクション] ⇒[完全なディスクのフォーマット] をクリックします。



④ [NTFS]を選び[フォーマット]をクリックします。



⑤ [コントロールパネル]⇒[共有フォルダ]をクリックします。共有フォルダに共有できていること確認します。



設定は以上です。

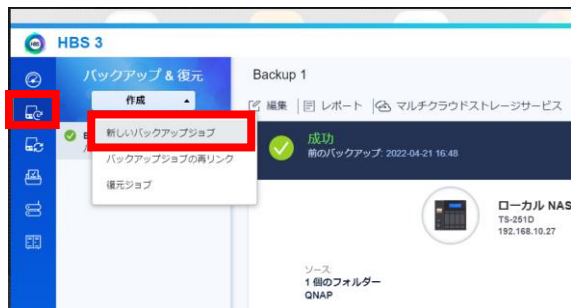
④外部ストレージへのHBS3設定1

外付けHDD等へのバックアップ設定

① HBS3をクリックして起動します。



② [バックアップ&復元]→[新しいバックアップジョブ]をクリックする。



③ バックアップを取るソース（元）フォルダにチェックを入れて[次へ]をクリックします。



④ 保存先に[ローカルNAS]を選択しチェックし、[選択]をクリックします。



⑤ 保存先に接続しているストレージを選択して[OK]をクリックします。



⑥ 保存元、保存先を確認して[次へ]をクリックします。



⑦ 任意の設定をし、[バージョン管理]をクリックします。



⑧ [バージョン管理を有効にする]にチェックを入れ、任意の設定をし、[次へ]をクリックします。



⑤外部ストレージへのHBS3設定2

外付けHDD等へのバックアップ設定

⑨
クイックチェック：スケジュールなし
コンテンツチェック：チェックなし
に設定して[次へ]をクリックします。



⑩
そのまま[ポリシー]をクリックします。



⑪
任意の設定をし、[オプション]をクリックします。



⑫
任意の設定をし、[次へ]をクリックします。



⑬
内容の確認をし、[作成]をクリックします。
⑦で設定したスケジュールでバックアップが実行されま
す。

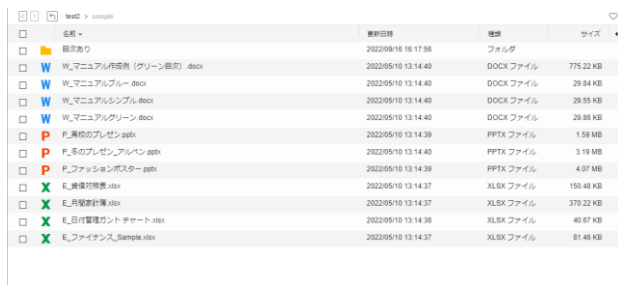


外部ストレージへのバックアップ設定は以上です。

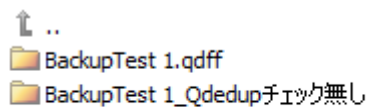
⑥ 「QuDedupの使用」のチェック有無の違い

チェック有でバックアップした際の独自形式qdffファイル

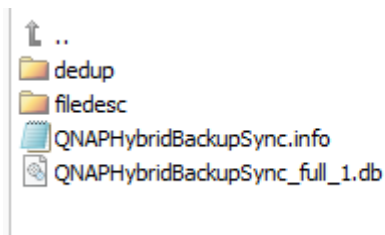
①
バックアップをするQNAPのフォルダを確認します。



②
バックアップ完了
BackupTest_1.qdff : チェック有
BackupTest_1_Qdedupチェック無し : チェック無



③
[BackupTest_1.qdff]フォルダの中の
独自ファイルになっている事が確認できます。



④
[BackupTest_1_Qdedupチェック無し]フォルダの中
中を見ると元データをそのまま参照できる事が確認
できます。



Qdedupチェック有 メリット

- ・バックアップデータのサイズを縮小するため高速です。
- ・必要なストレージ容量を削減できます。

Qdedupチェック無 メリット

- ・バックアップデータをそのまま確認する事ができます。

以上です。

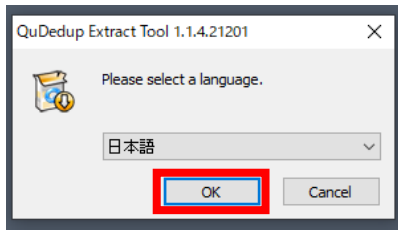
⑦ QuDedup Extract Toolの導入

qdffファイルを参照するためのツールのインストール

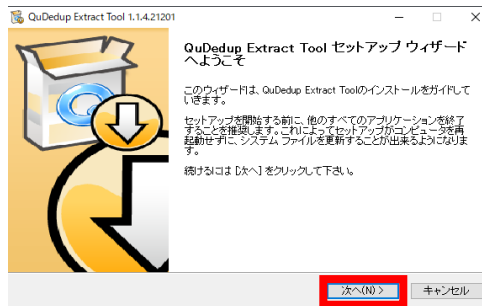
① 以下より「QuDedup Extract Tool」をダウンロードし、インストールします。

<https://www.qnap.com/ja-jp/utilities/enterprise>

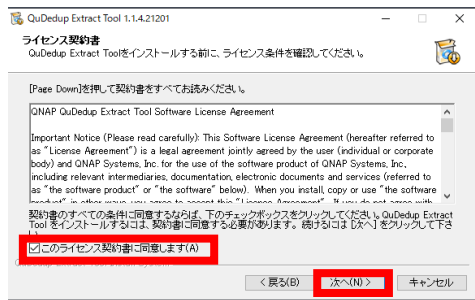
「日本語」を選択し、「OK」をクリックします。



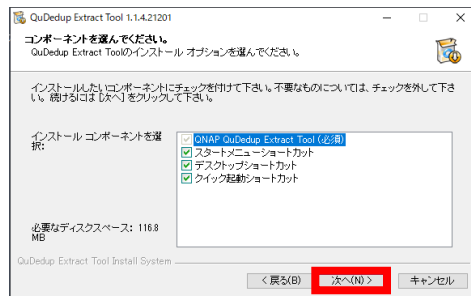
② 「次へ」をクリックします。



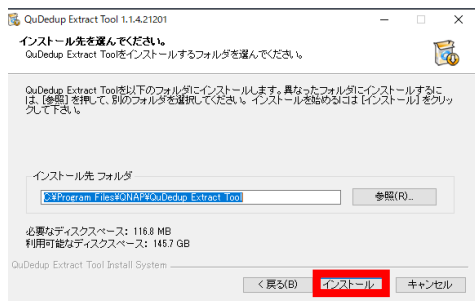
③ 同意にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



④ 任意にチェックを入れ、「次へ」をクリックします。



⑤ 任意に設定をし、「次へ」をクリックします。



⑥ 「完了」をクリックします。



⑦ 任意の設定をし、「適用」をクリックします。



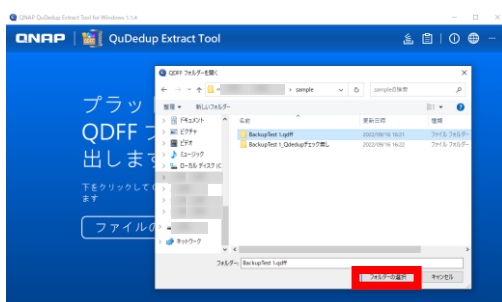
⑧ インストールは以上です。



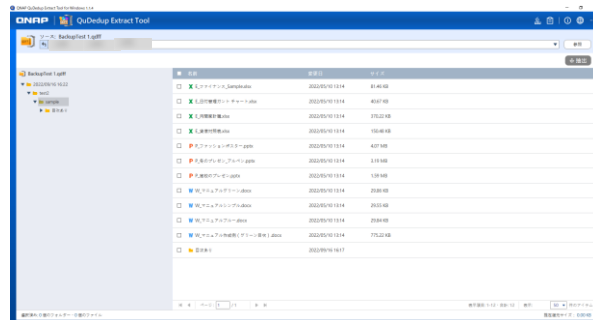
⑧ qdffファイルの参照

QuDedup Extract Tool qdffを利用してqdffファイルを参照する。

① 「ファイルの参照」をクリックし、任意のqdffファイルを選択し、「フォルダーの選択」をクリックします。



② バックアップしたファイルを参照できる事を確認します。



以上です。